

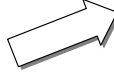
備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-01-14-01
事務事業名	循環型社会推進事業	根拠法令・要綱等	循環型社会形成推進基本法 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
事業開始年度	平成12年度～	問合せ先	環境課
大項目 基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり	職・氏名	衛生係長・森本和成
中項目 基本施策	生活しやすいまちづくり	電話	64-1821
小項目 施策	ごみ処理		

事業の実施	
対象 (誰・何に対して)	一般市民
目的 (何のために)	ごみ減量化・資源化の意識を高め、発生抑制(リデュース)・再利用(リユース)・再生利用(リサイクル)を行う循環型社会の構築をする。
行政活動 (どのような方法で)	環境衛生指導委員会と協力し、市民に資源の循環型社会の推進を啓発する。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	ごみの分別品目や回収方法の見直し、資源ごみの回収団体の増加やごみの減量化への意識改革をする。

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	びんのコンテナ回収収集の所数	加所		8	14
	直接事業費	千円		0	0
	人件費			1,655	837
	事業費計		0	1,655	837
	国県支出金			0	0
	受益者負担			0	0
	市一般財源		0	1,655	837
	必要人員	人		0.15	0.11
	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
びんのコンテナ回収量	説明	コンテナで回収されたびん類は、100%、資源化される。			
結果指標	結果指標量	kg	15,150	37,700	
	対前年比	%	-	249%	
	活動コスト	円			
	単位当たりコスト	円			
結果指標	結果指標量	人			
	対前年比	%	-		
	活動コスト	円			
	単位当たりコスト	円			

事業の成果			
成果指標名	びんのコンテナ回収量	式又は説明	コンテナで回収されたびん類は、100%、資源化される。
	17年度	18年度	19年度
成果指標量		15,150 kg	37,700 kg
対前年比			249%
到達目標値	50,000 kg	到達目標年度	平成22年度



事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価 <A-E>	C
目的	開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	近々の課題である廃棄物・リサイクル対策の重要性にかんがみ、平成12年6月に公布された「循環型社会形成推進基本法」の基づき事業が実施されている。
	現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
	事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
対象	事業開始当初の目的から変化している	近々の課題である廃棄物・リサイクル対策の重要性にかんがみ、平成12年6月に公布された「循環型社会形成推進基本法」の基づき事業が実施されている。	近々の課題である廃棄物・リサイクル対策の重要性にかんがみ、平成12年6月に公布された「循環型社会形成推進基本法」の基づき事業が実施されている。
	対象を見直す必要がある		
	事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
行政活動	現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	近々の課題である廃棄物・リサイクル対策の重要性にかんがみ、平成12年6月に公布された「循環型社会形成推進基本法」の基づき事業が実施されている。	近々の課題である廃棄物・リサイクル対策の重要性にかんがみ、平成12年6月に公布された「循環型社会形成推進基本法」の基づき事業が実施されている。
	市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
	本市が関与しなければならない事業である		
市の関与	事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい	近々の課題である廃棄物・リサイクル対策の重要性にかんがみ、平成12年6月に公布された「循環型社会形成推進基本法」の基づき事業が実施されている。	近々の課題である廃棄物・リサイクル対策の重要性にかんがみ、平成12年6月に公布された「循環型社会形成推進基本法」の基づき事業が実施されている。
	事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
	コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
コスト	コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	近々の課題である廃棄物・リサイクル対策の重要性にかんがみ、平成12年6月に公布された「循環型社会形成推進基本法」の基づき事業が実施されている。	近々の課題である廃棄物・リサイクル対策の重要性にかんがみ、平成12年6月に公布された「循環型社会形成推進基本法」の基づき事業が実施されている。
	サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
	受益者負担額を見直す余地がある		
効率性の評価	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	近々の課題である廃棄物・リサイクル対策の重要性にかんがみ、平成12年6月に公布された「循環型社会形成推進基本法」の基づき事業が実施されている。	近々の課題である廃棄物・リサイクル対策の重要性にかんがみ、平成12年6月に公布された「循環型社会形成推進基本法」の基づき事業が実施されている。
	最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
職場	事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	近々の課題である廃棄物・リサイクル対策の重要性にかんがみ、平成12年6月に公布された「循環型社会形成推進基本法」の基づき事業が実施されている。	近々の課題である廃棄物・リサイクル対策の重要性にかんがみ、平成12年6月に公布された「循環型社会形成推進基本法」の基づき事業が実施されている。
	事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
	事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
目的達成度	成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	近々の課題である廃棄物・リサイクル対策の重要性にかんがみ、平成12年6月に公布された「循環型社会形成推進基本法」の基づき事業が実施されている。	近々の課題である廃棄物・リサイクル対策の重要性にかんがみ、平成12年6月に公布された「循環型社会形成推進基本法」の基づき事業が実施されている。
	成果指標は前年度より向上している		
	成果は向上しており今後も向上する見込みである		
有効性の評価	今後、成果指標は向上する余地がある	近々の課題である廃棄物・リサイクル対策の重要性にかんがみ、平成12年6月に公布された「循環型社会形成推進基本法」の基づき事業が実施されている。	近々の課題である廃棄物・リサイクル対策の重要性にかんがみ、平成12年6月に公布された「循環型社会形成推進基本法」の基づき事業が実施されている。
	事業について積極的に情報提供している		
	事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
市民参画度	事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	近々の課題である廃棄物・リサイクル対策の重要性にかんがみ、平成12年6月に公布された「循環型社会形成推進基本法」の基づき事業が実施されている。	近々の課題である廃棄物・リサイクル対策の重要性にかんがみ、平成12年6月に公布された「循環型社会形成推進基本法」の基づき事業が実施されている。
	事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		
	事業の有効性を高める手段をとっている		

平成20年度の状況		説明	循環型社会の構築は今後とも推進の必要があり、多様化してくる。それらの需要に対応しながら、推進する必要がある。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で真止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量	びんのコンテナ回収量	結果指標量
	成果指標量	50,000 kg	

総合評価		評価区分 <A-E>	C	
循環型社会の構築は、今後とも推進の必要があり、多様化してくる。それらの需要に答えるために、見直しを繰り返しながら推進する必要がある。				

平成21年度以降の方向性		説明	平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する		
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する		

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	ごみ分別数の増加	H21	焼却ごみの減量と資源化